

日本鐵鋼協會記事

◎理 事 會

大正六年十二月十九日午後五時より本會假事務所に於て
理事會を開き各學會及協會聯合委員會より其筋へ提出の製
鐵自給策に關する報告並に其他の件に付き協議をなせり
當日出席者は左の三氏なり。

野呂 景義、 香村 小録、 倭 國 一

◎編 輯 會

大正六年十二月四日午後五時より本會假事務所に於て編
輯委員會を開き會誌第三年第十二號の原稿を選定せり

當日出席者は

香村小録、川上義弘、井上克己、室井嘉治馬

の四氏なり。

◎入退會者

前號報告後入退會を承認せられたる會員左の如し

○入 會 者 (住所及職業)

兵庫縣武庫郡大社村森具住友鑄鋼所員工學士	正會員	細 矢 尙
東京市深川區東大工町四八東京製鋼株式會社技師	同	野 村 宅 藏
東京市芝區高輪南町四月島機械株式會社技師工學士	同	澁 谷 澄
小倉市山越町東京製鋼株式會社小倉工場技師	同	香 月 五 郎

◎轉 居 (新住所左の如し)

福岡縣小倉市京町一〇ノ二九八
神戸市花隈町二九八前田常衛方
大阪市西區西島町七三三大阪亞鉛鑛業株式會社
西島工島
東京府南葛飾郡大島町四丁目大島製鋼所内
福岡縣八幡市高見町五丁目七七號官舍
福岡縣八幡市高見町二丁目官舍
東京市外池袋三三九
東京市麴町區上六番町三三
福岡縣田川郡川崎村大字池尻八七四
福岡縣八幡市高見町五丁目官舍
福岡縣小倉市紺屋町二一四
東京市芝區高輪南町三〇
福岡縣小倉市許斐町日本銑鐵會社内
福岡縣八幡市枝光字下方足田義太郎方
東京市麴町區富士見町一ノ三二

一三六二

東京市本郷區元町二丁目四七朝日館内	准會員	波多江市藏
東京府北豐島郡瀧ノ川町字西ヶ原一〇九七	同	前田 啓造
東京市小石川區大塚仲町五一	同	利根川 流哉
同本郷區丸山福山町十一平野方	同	田中 元次郎
愛知縣愛知郡中村則武	同	寺島 欽次郎
東京市大塚坂下町一九九	同	宇都宮 寛一
九州帝國大學工科大学冶金科學生	同	仲 野 源治
名古屋市熱田白鳥四番戶	同	兼 吉 節
長崎市三菱造船所社宅	同	元 吉 清
秋田縣秋田鐵山專門學校學生	同	富田 俊藏
福岡縣戸畑町明治專門學校役宅同校助教	同	笠井 直次
東京市麻布區新龍土町五遞信技師工學士	同	大 屋 敦
東京府南葛飾郡大島町六丁目東京鋼材株式會社員	同	秋野 釜吉
中華民國農商部參事	同	張 新 吾

前田 薰郎	前田 誠吾	柴田 正雄	東馬 三郎	河田 源六	中原 津	佐川 榮太郎	佐野 清風	野田 信之	原 俊成	川合 得二	佐々木彦太郎	内野 久雄	小野田 直次	伊藤 幸次郎
-------	-------	-------	-------	-------	------	--------	-------	-------	------	-------	--------	-------	--------	--------

福岡縣遠賀郡折尾六二四
 北海道遞信局海事部小樽出張所
 支那安東縣三番通三ノ四
 長崎市九州遞信局海事部
 東京府大久保町百人町五六
 山口縣都濃郡太華村字奈切大阪鐵板製造株式會社德山分工場
 神戸市葺合町千九百六十二番屋敷ノ四
 福岡縣若松市堺町三二二

伊藤清造
 太田貞夫
 繁山理
 三輪卓郎
 田口由三
 伏見政治
 宮崎操
 齋藤平太郎

死亡

正會員川井平太郎氏は大正六年十一月評議員
 梅岡平七氏は同月二十七日死去せられたり誠
 に哀悼の至なり謹て弔す